



## 政策会議 議事概要

開催日	令和6年4月19日	場所	波賀市民局 2階会議室
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 市長公室長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部長 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部長 <input checked="" type="checkbox"/> 健康福祉部長 <input checked="" type="checkbox"/> 産業部長 <input checked="" type="checkbox"/> 農業委員会事務局長 <input checked="" type="checkbox"/> 建設部長 <input checked="" type="checkbox"/> 一宮市民局長 <input checked="" type="checkbox"/> 波賀市民局長 <input checked="" type="checkbox"/> 千種市民局長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部長 <input checked="" type="checkbox"/> 会計管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 議会事務局課長(代理) <input checked="" type="checkbox"/> 総合病院副院長兼事務部長		
議題	<p style="text-align: center;">宍粟市文化財保存活用地域計画骨子案について</p>		
総合計画での位置付け	<p>基本目標 2. 安心して子どもを産み育てられ、いつまでも元気に過ごせるまち  基本方針 ⑦心豊かにいきいきと学べるまちづくり  基本施策 【24】文化・芸術活動の推進</p>		
総合戦略での位置付け	<p>【住む】集落・地域の活性化と移住・定住の促進</p>		
現状	<p>平成31年4月施行の文化財保護法の改正で、これまで、指定・登録等に係る文化財を個別に保存・活用してきたが、今後は、未指定を含めた文化財をまちづくりに活かしつつ、地域社会総がかりでその継承に取り組むことが必要であり、文化財の計画的な保存・活用の促進や、地方文化財保護行政の推進力の強化を図ることが示された。また、市町村文化財保存活用地域計画の作成が制度化され、継続性・一貫性のある文化財の保存・活用が一層促進されることが求められている。</p>		
課題	<p>人口減少・少子高齢化等により地域の担い手の減少やそれに伴う歴史文化への関心の低下、自然災害やコロナ禍における祭礼・伝統行事の中止など、貴重な文化財の滅失・散逸や地域コミュニティの希薄化が進み、文化財や歴史文化そのものの継承が困難となりつつある。</p>		
決定事項	<p>○宍粟市文化財保存活用地域計画骨子案を承認し、令和7年2月政策会議への素案提出に向けて引き続き策定作業を進める。</p>		